

そなえる まつなみ

第22号



発行／松波自主防災会 千葉市中央区松波 2-22-35 松波会館内 2026 年 1 月

●今年自分のセーフティーネットを考える年！—佐藤優さん

「今年自分のセーフティーネットをどうつくるか、生き残りについて考える年です」—そう発言したのは元外交官の佐藤優さん(1 月 3 日、「テレビ東京」の「池上彰がいま話を聞きたい 30 人」での発言)。

特に、昨年 12 月 19 日に発表された首都直下地震についての政府の作業部会報告(下記)に関連して、増田寛也・部会主査が語った「自分事として捉え、住宅耐震化や家具の固定、食料備蓄に取り組んでほしい」と考え合わせると、年のはじめにあらためて、大規模災害に備えてご自分の安全環境を見直してみるのも意味のあることだと思いませんか？



●死者 1・8 万人、全壊・焼失家屋 40・2 万棟—首都直下地震想定



政府の作業部会が発表した、マグニチュード 7・3 の首都直下地震が発生した場合の被害想定は、前回 2013 年の想定より死者で 5000 人減の 1 万 8000 人、全壊・焼失家屋数で 20・8 万棟減って 40・2 万棟となりました。これはこの間に、住宅の耐震化や火災対策が進んだことによるものです。しかし逆に、停電戸数は 429 万軒増えて 1649 万軒に、下水道に支障が出る人も 50 万人増えて 200 万人と想定されました。

ちなみに千葉市中央区は、都心南部の直下地震なら「震度 6 弱」、また千葉市直下地震なら「震度 6 強」と推定されています。

●災害関連死は直接死の 2 倍！—昨年元旦に起きた能登半島地震

能登半島地震では、震災のあとに心身に負荷がかかって亡くなる「災害関連死」が、建物の下敷きになって亡くなるなどの「直接死」の 2 倍を超えていることがわかりました。中でも、石川県内では関連死で亡くなった人の 98% が 60 歳以上で、「長期の避難によって体調のすぐれない人の症状悪化や自殺、アルコール依存などの理由が増える傾向がある」と専門家は指摘しています。

